



吉村 忍 議員

小中学校の水泳授業の中止について

問 多くの子どもたちが最も楽しみにしている水泳授業が中止となった経緯を問う。

答 学校が休業していた5月11日に、小中学校校長会長2名と、教育委員会事務局で学校再開後のことについて協議を行った。この時点では、着替え等での3密を避けることが難しいことや飛沫感染のリスクが大きいこと、また、児童生徒の



教室で待って浮く

問 「子育て応援給付金」が、中学校終了前児童に限定し、高校生が支給対象とならなかった

新型コロナウイルス 又対策について

健康診断も実施できていないことを考慮して、今年度の水泳授業を中止する判断をした。

問 毎年多くの子どもたちが水難事故で尊い命を落としている。水泳授業は水難事故防止教育でもある。今年度の水難事故防止教育はどのように考えているのか。

答 指摘のとおり、水難事故防止に向けた児童生徒への指導は、大切であると認識している。

今年度は、水中での体験的指導はできないので、各校と連携し水難事故防止のDVDを視聴させたり、AEDの講習会に児童生徒が参加し、専門家から指導を受けるなどの工夫を凝らして、対応するようお願いしたいと考えている。

ことについて、多くの関係者から不満の声が上がっている。

高校生が支給対象とならなかった誰もが納得のできる説明を求め。

答 国および町の給付金の対象者は、このたびの新型コロナウイルスで最も影響を受けた子育て世代に対し、スピード感をもって給付するため、児童手当受給者が基本となっている。

対象を高校3年生までと言う意見であるが、中学校を卒業し高校に行っていない方や、既に就職している方もいることから、年齢により不公平が生じるなど、対象者を特定することに時間を要し、スピード感をもって給付することができないことから、児童手当受給者である中学3年生までとした。

すでに、町独自の「子育て応援給付金」は5月20日、国の「子育て世帯臨時特別給付金」は6月10日に支給を行っているの、理解を賜りたい。

問 理解できない。高校生を対象とした給付金を求める。

答 検討する。

病院事業について

問 新型コロナウイルス感染症患者の受け入れ体制は整ったか。

答 人工呼吸器の確保、院内感染防止ゾーンニング用パーティションの購入、職員の防護具の確保ができていますので、概ね準備が整っていると考えています。

問 面会禁止となっている老人保健施設において、国の支援事業などを活用したオンライン面会の設備の導入を提案する。

答 遠方のご家族さまとの面会については、オンライン面会について対応することとし、必要ない機器については出来るだけ既存のものを活用することとした。

やすらぎ苑においては、6月末からの運用を考えている。

さざなみ苑においては、利用時間や運用方法を検討中であるが、面談室と自宅をつないで面会できるよう準備しており、7月中旬開始を目指している。